

あいだ／生成

第二号

二〇二二年

あいだ哲学会

*Between / Becoming, Vol.12, 2022*  
*Society of In-between Philosophy*

## あいだ哲学会規約

---

1. 本会は、あいだ哲学会と称し、事務局を京都大学大学院・人間環境学研究科武田宙也研究室に置く。
2. 本会は、〈あいだ〉への問題意識にもとづく哲学的研究とその発展を目的とする。
3. 本会の会員は、京都大学大学院人間・環境学研究科武田宙也研究室の関係者ならびに委員会の推薦を受けた者とする。
4. 本会は、次の事業を行う。
  - (ア) 学会誌『あいだ／生成』の刊行。
  - (イ) 研究会、講演会等の開催。
  - (ウ) その他必要な事業。
5. 本会の運営を遂行するために委員会を設置する。
6. 委員会は、若干名の幹事を委嘱することができる。
7. 規約の改正等の重要事項については、委員会の審議を経て決定する。

## 『あいだ／生成』投稿規定

---

1. 投稿資格は原則として会員に限る。
2. 投稿論文の内容は未発表のものに限る。二重投稿は認めない。
3. 原稿の採否は委員会の委嘱を受けた編集委員が審議の上決定する。
4. 掲載された論文の著作権は著者に帰属する。掲載された論文等は原則として電子化し、インターネット等を通じて公開する。

## 編集後記

『あいだ／生成』第12号をお届けいたします。本号では、イタリアの美学者ルイジ・パレイゾン、ウィーンの画家ベルトルト・レフラーによる壁画「カール大帝の間」についての論考、計2編を掲載しております。加えて、昨年出版されました、研究室出身者による刊行物の書評も寄せられています。異なる時代や分野を扱った論考が集まりましたので、ぜひご覧ください。また、今年度から紙媒体での刊行を再開いたしました。引き続き、京都大学学術情報リポジトリ 紅 (<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/139293>) での公開も行います。しばらくは手探りの状態が続きますが、建設的なご批判など賜れば幸いです。

(松本理沙)

## 編集委員

蘆田 裕史  
尼ヶ崎 彬  
石田 美紀  
石谷 治寛  
岡田 温司  
岡本 源太  
喜多恵美子  
武田 宙也  
橋本 梓  
山内 朋樹

## 編集幹事

松本 理沙  
濱田明日郎

# 『あいだ／生成』 第12号

発行日：令和4年（2022年）3月31日

編集・発行：あいだ哲学会  
京都大学大学院人間・環境学研究科武田宙也研究室  
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町  
tel：075-753-6540

印刷：北斗プリント  
〒606-0864 京都府京都市左京区下鴨高木町38-2  
tel：075-791-6125

論文

- 幻の総合芸術「カール大帝の間」  
——ナショナリズムの観点から 福間加代子 1
- 作品形成における現存性と超越性  
——ルイジ・パレイゾン「形成性の理論」をめぐって 片桐 亜古 25

書評

- 吉松寛『生の力を別の仕方でも思考すること』  
——ジャック・デリダにおける生死の問題』 濱田明日郎 35

あいだ／生成

*Between / Becoming*

*Article*

- FUKUMA Kayoko *Der Kaiser Karl-Saal. Mythos und Nationalismus im Salzburger Volkskeller.*
- KATAGIRI Ako *A study on the "theory of formativity" of Luigi Pareyson: Existence and transcendence in the formation of artwork*

*Book Review*

- HAMADA Tomoroh *YOSHIMATSU Satoru, Sei no Chikara wo Betsu no Shikata de Shikō Surukoto: Jacques Derrida ni Okeru Seishi no Mondai*